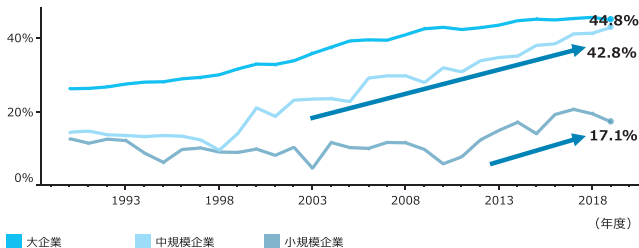
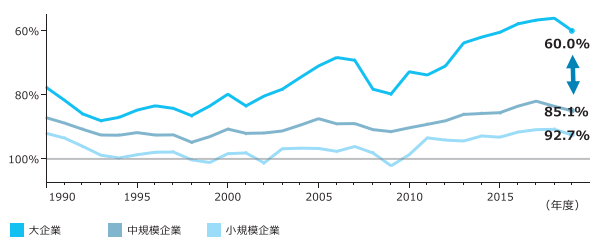


自己資本比率の推移



資料：財務省「法人企業統計調査年報」

損益分岐点比率の推移

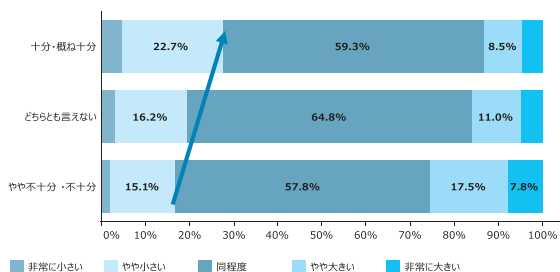


(注) 損益分岐点比率：売上高が現在の何%まで減少した場合に赤字に転落するかを示す指標。

資料：財務省「法人企業統計調査年報」

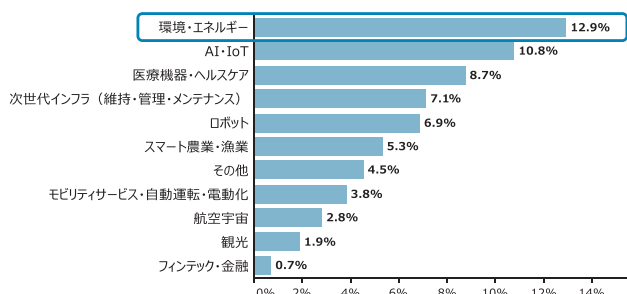
- 財務状況も踏まえ、今後どのような経営戦略を立てていくかが重要。特に、ビジョンを明確にした経営計画を立て、日ごろから事業環境の変化に合わせた見直しを行っていくことが必要。
- 中小企業の成長には、海外進出による需要獲得や、環境分野など新たな需要の獲得も重要。

感染症流行前における経営計画の見直し状況別に見た、同業他社に比べた感染症の影響



資料：㈱東京商工リサーチ「中小企業の財務・経営及び事業承継に関するアンケート」

新たに進出を検討している成長分野（2019年）

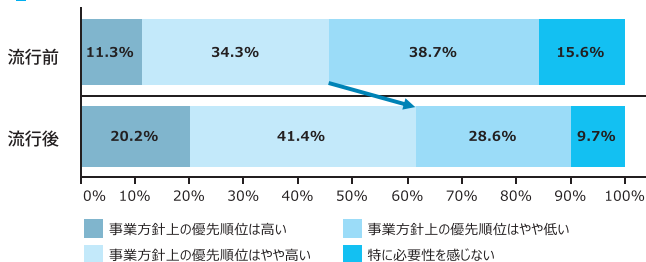


資料：㈱東京商工リサーチ「中小企業の付加価値向上に関するアンケート」(2019年)

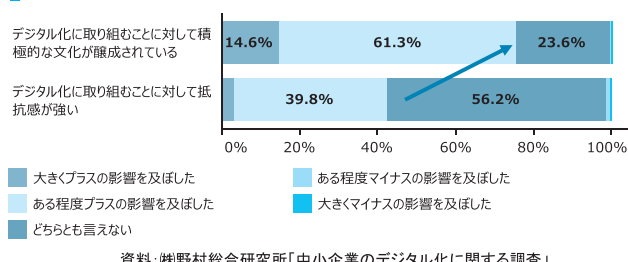
事業継続力と競争力を高めるデジタル化

- 感染症流行により、中小企業のデジタル化に対する意識が高まった。働き方改革や効率化の取組に加え、テレワークの推進など事業継続力強化の観点でデジタル化に取り組む企業が多く存在。
- 中小企業のデジタル化推進に向けては、デジタル化に積極的に取り組む組織文化の醸成や業務プロセスの見直しなど、企業自身の組織改革が必要。

デジタル化に対する優先度の変化（感染症流行前後）



デジタル化に対する社内の意識と業績への影響



資料：㈱野村総合研究所「中小企業のデジタル化に関する調査」

今後の中小企業政策の方向性

- 感染症流行の影響により大きく変化する事業環境に合わせて、将来に向けた経営戦略を立案し事業を見直していくことは中小企業共通の課題。
- それぞれの中小企業が目指す方向性に合わせたきめ細かな支援とともに、取引の適正化や事業継続力強化など共通基盤の整備を進める。

[出典：2021年版中小企業白書・小規模企業白書概要（中小企業庁）]